

近現代史(62)「中ソ対立とプロレタリア文化大革命」

○今回のポイント

毛沢東は「大躍進」の失敗に対して、党の指導力を巻き返すため、対外的にはソ連の平和共存路線を批判し、国内的には文化大革命により権力闘争を繰り広げた。

【中ソ対立】

①中ソ対立の起源

☆中国の立場

↓ ○米帝と対決しつつ社会主義建設に独自性を確保しようとする。↓

☆スターリンの死(1953)によるソ連社会主義の政策転換「1. ソ連共産党第20回大会」(1956)

a) [2. 平和共存路線] → 米帝との対決と武装闘争を核心とする中国の立場と相容れない

b) [3. スターリン批判] → 毛沢東の絶対化に対する批判につづるものがある。

☆ソ連との対立を招くようになる。

②[4. チベット反乱](1959.3)

- ・ 1958年「5. 大躍進」失敗 → チベットでも大量の餓死者
- ・ 政教一致の原則とチベット仏教の布教を求めて首都[6. ラサ]で大規模反乱が起こる。
- ・ [7. ダライ=ラマ]はインドに亡命。インドはダライ=ラマと反乱軍を支持し、中国軍と衝突。
→ ソ連はインドの立場を支持 1959年12月 [8. 中ソ技術協定破棄]

③中ソ対立表面化

- ・ 1960 「大躍進」失敗後、経済混乱の中にある中国に対して
 - a) [9. ソ連人技術者の引き上げ]
 - b) [10. 経済援助の破棄]
- } 中ソ対立は表面化！！

④公開論争

- ・ 1962 [11. キューバ危機]でソ連妥協
 - ・ 1963 [12. 部分的核実験停止条約]
- } 中国がソ連を批判！！ → 公開論争

■A)中国側の主張

- ・ ソ連の平和共存路線は現状維持的な「13. 修正主義」
- ・ ソ連の1968年のチェコ介入以後は「14. 社会帝国主義」

■B)ソ連側の主張

- ・ 中国の立場は「15. 教条主義」
- ・ 文化大革命は「16. 極左日和見主義」

⑤武力衝突 ☆1969 [17. 珍宝島](ダマンスキー島)事件

→ [18. ウスリー川]にある島を巡って武力衝突が発生し、双方に多数の死者が発生。ソ連側が核兵器の使用に言及するほどの激しい対立となる。

⑥中ソ対立の影響

- ・ 社会主義陣営と各国の左翼運動に亀裂をもたらす。
- ・ アジア、アフリカ諸国への経済、軍事援助でも両国は競合し、民族解放闘争の行方にも大きな影響。

【文化大革命】

★文革の背景

- ・ 1949 [19. 中華人民共和国] 建設
 - ・ 1953～57 [20. 第一次五カ年計画] → 強引な工業化、農業集団政策
 - ・ 1958 第二次五カ年計画 「21. 大躍進」 失敗
 - ・ 1958 毛沢東が国家主席の座を [22. 劉少奇] に譲る。
 - ・ 1961～ [23. 調整政策]
 - ・ 劉少奇、[24. 鄧小平] らが中心となり農業と軽工業生産の回復を行う。
- ↓
- ・ 毛沢東の巻き返し；社会主義段階においても階級闘争が存在し、党や国家の幹部に残存するブルジョワ思想を取り除く革命を継続すべきだという信念を固める。
 - ・ 修正主義化を防止する為、党内の資本主義復活をはかる [25. 実権派] (走資派) から権力を奪取する権力闘争を展開！！

★1966 [26. プロレタリア文化大革命] !!

① 奪権闘争期

- ・ 大衆動員を図り [27. 紅衛兵] 組織 → 「造反有理」(謀反には理由がある) をスローガンに旧文化破壊
- ・ 1968 年 劉少奇失脚 → 毛沢東の権力は回復するが、奪権闘争に勝利した後の方向性を示すことが出来ず。造反する学生、労働者、兵士は毛沢東思想を権威として暴走！！

② 毛沢東・林彪体制

- ・ 1969 中国共産党第9大会 → 軍人の [28. 林彪] が毛沢東の後継者に指名される。
- ・ 1971 [29. 林彪事件] → 毛沢東は軍に対する党の優位を確立する為、林彪がソ連と結んで毛を排除しようとしていたとして排斥される。林彪は国外に逃れる途中、飛行機事故で死亡。

③ 林彪事件後 ～「鄧小平&周恩来」VS「四人組」～

※1972 中ソ対立を利用して [30. ニクソン] が中国に接近。1972年2月に訪中を実現。中国は外交政策の歴史的転換の中でも権力闘争を繰り広げる。

■ 文革初期に批判された [31. 鄧小平] が再び復活！周恩来と協力して秩序の回復と経済再建にあたる。



■ 毛沢東の威信を背景とする [32. 江青] (毛沢東第三夫人の女優) ら「33. 四人組」は「批林批孔運動」を展開して、毛沢東の個人崇拜を強め、周恩来・鄧小平らの実務家と対決。

④ 1976年の動向 ～文革終焉！～

- 1月 [34. 周恩来] 死去
- 4月 [35. 第一次天安門事件] : 周恩来の死を悼む人々が天安門広場につめかけ、その遺徳を讃えている最中に、群衆の中から毛沢東の専制に対する批判が起こる。→ 鎮圧。
※鄧小平、再び失脚。
- 9月 [36. 毛沢東] 死去
- 10月 [37. 華国鋒] が江青ら「四人組」の文革派を逮捕。文化大革命終焉。